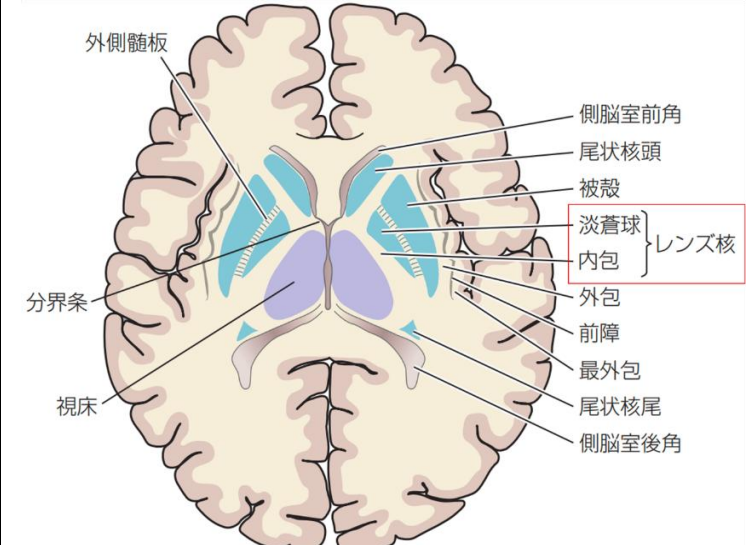
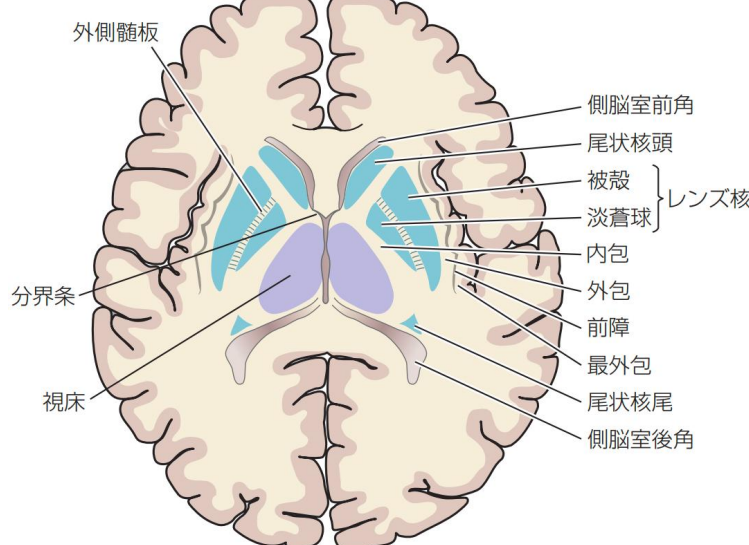


『《標準理学療法学 専門分野》運動療法学 総論 第5版』 正誤表

このたびは『《標準理学療法学 専門分野》運動療法学 総論 第5版』をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

第1刷（2023年12月15日発行）～第3刷（2025年11月15日発行）におきまして以下の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

2024年8月6日作成 2026年6月17日更新

刷数	訂正箇所	誤	正	掲載
1	27頁 図18 関節包内運動パターン (凹凸の法則)	図18 関節包内運動パターン (凹凸の法則) A：凹の法則。凹面上での凸面の運動時、転がりと滑りは反対方向。 B：凸の法則。凸面上での凹面の運動時、転がりと滑りは同方向。	図18 関節包内運動パターン (凹凸の法則) A： 凸 の法則。凹面上での凸面の運動時、転がりと滑りは反対方向。 B： 凹 の法則。凸面上での凹面の運動時、転がりと滑りは同方向。	2024/8/6
1～3	29頁 図22のキャプション	C：祝福手変形。尺骨神経麻痺のため小指球筋、骨間筋が萎縮して生じる。環指、小指の屈曲が特徴。	C：祈祷（祝福）手変形。正中神経高位の障害による示指・中指深指屈筋、長母指屈筋の機能不全のため、随意的に示指と中指が屈曲できず伸展位に取り残される。	2026/6/17
1,2	90頁 図17 大脳基底核	図17 大脳基底核 左側の図で、レンズ核が淡蒼球と内包を含むように記載されている。 【訂正前の図】 赤い囲みの部分に記載の誤りがある。 	図17 大脳基底核 正しくは、 被殻と淡蒼球を含めた部分がレンズ核 と表現される。内包はレンズ核に含まれない。 【訂正後の図】 	2025/4/17

【90頁・図17 訂正後の画像（拡大）】

